

## 本の紹介

版元 高文研  
著者 有田 光雄 著  
定価 本体 1,600 円＋税  
出版年月日 2018/04/19  
ISBN 9784874986493

妻を看取る  
老共の介護体験記  
有田光雄  
著

労働運動一筋に生きて共の  
八十路最初のたたかいは、  
病に倒れた妻の介護だった。  
激動の戦後を生き抜いた夫婦の、  
尊敬と慈愛に満ちた6年間の記録！

著者は大山崎町在住のきょうと福祉倶楽部の代表の父です。  
父の母を看取った記録がこの本です。  
共であった両親は学生時代からひとひとが幸福でいられる  
社会を目指して奮闘する仲間でした。  
「地球を蹴って歩く」（父の談）健康そのものの母がある日身体の不調  
に気がつきます。

病名は分かりません。だけどなにか違うと息子のわたしの助言で医師を探  
します。手指の震えは神経内科領域の病気を疑います。

受診した医師は懸命に診断を付けようと様々な努力をして下さいました。そして  
確定診断のために京大病院に入院。冷酷な診断がくだります。治療法の確立して  
いない難病「大脳皮質基底核変性症」でした。

そして自宅で母と一緒にいようと決意した父の介護生活が始まりました。  
最初は歩行器で移動出来る状態でしたが徐々に病状は進行。  
母の出来る事は少しずつ奪われていきました。口からは食べられなくなり、  
自分の力ではまったく動けません。言葉を発することもできなくなりました。  
その上二度の脳梗塞の発症はさらに母を痛めつけました。  
そして母和子は2016年6月19日、87歳で生涯を自宅で閉じました。

この本はその冷酷な事実を直視しながらも母のために愛情深く支えた著者の優し  
さが伝わる介護の全記録です。

本書は第一部でともに歩んだ二人の青春時代を紹介。  
第二部で6年にわたる自宅での介護の様子と想いを記録しています。  
母和子は2016年6月19日、87歳で生涯を自宅で閉じました。

著書の中ではできの悪い息子が両親のために作成した  
ケアプランなども紹介しています。

## 認知症介護 ヘルパー日常 パート2

認知症一人暮らしの0さん  
支払いが気になります。

訪問すると、毎日のように訪問しているヘルパーに  
初めましてと言わんばかりの表情・・・  
ですがどこかで安心してくれているのか、毎回快く迎  
え入れてくれます。  
そしていつも通り調理や洗濯、掃除をし、  
「0さん～食事ができましたよ」と声をかけると  
いつものパターンが始まります。

0さん 「ところでお世話になっているお支払いは？」  
ヘルパー「引き落としになっていきますよ安心してくだ  
さいね」

0さん 「そうですか～」と笑顔  
で・・・しばらくするとまた

0さん「ところでお支払いはどうなってますかね？」  
と・・・

このやりとりが1時間の訪問中延々に続きます・・・  
相当気になるのですね・・・

ありがとうございました。

と訪問も終わり帰るときも必ず  
この支払いのやりとりをして終わります。

この「支払いの心配」がない日々はいつやってくる  
のでしょうか・・・？

有限会社 おとくに福祉研究所  
きょうと福祉倶楽部

〒617-0824  
長岡京市天神4丁目7-12 ハイツ東台101号  
TEL 075-958-2560 FAX 075-957-2808  
E-mail info@fukushi-club.com